

特別の教科 道徳の指導における I C Tの活用について

特別の教科 道徳における1人台端末の活用

特別の教科 道徳では、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え、向き合う、「**考え、議論する道徳**」への転換により、道徳性を養うことが求められる。指導に当たっては、**道徳科の目標に示されている学習活動**に着目し、より効果的に行われるようにするための手段としてICTを活用することが肝要。

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳科の授業の質的転換

多面的・多角的に考えるための活用例

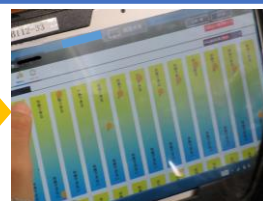
「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。

＜授業の流れ(例)＞

- ①「規則の尊重」と「親切、思いやり」との、**いずれの立場を重視するかについて自分の考えを選択し端末に入力**する。
 - ②**端末で他者の考えを知る**。
 - ③相互の考えについて根拠に基づき、議論する。
 - ④**端末に入力した全体の考えを共有**し、振り返る中で考えを深める。
- ※互いの考えを伝え合ったり、相手の思いを受け止めて話し合ったりすることができる支持的な学級風土が重要となる。



①規則を守るか、例外を認めるか、自分の考えをもつ。



②他者の考えを知る



③他者と議論する



④全体で共有し、規則の意義について考える。

自分自身との関わりの中で深める活用例

他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。

＜授業の流れ(例)＞

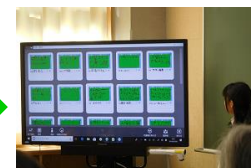
- ①「正直、誠実」とは何かについて他者との議論を通して道徳的価値を理解する。
 - ②自分自身にとって「**正直、誠実**」は、**何を大切にするかを改めて自己を見つめ整理し、端末に考えを表記**する。
- ※人前で話すことが苦手な児童生徒も考えを示すことが可能となる。
- ③教師が**端末に入力されたそれぞれの考えを把握・整理し、全体に共有する**。
 - ④子供の考えを全体に紹介する。



①誠実とはどのようなことかを他者と議論する



②自分が大切にしたい誠実な心に向き合う。



③教師が把握する



④意図的に指名をして全体に紹介する

道徳科の授業におけるICTの効果的な活用

道徳科では、子供たちの学習状況について大くりなまとまりを踏まえた評価が求められる。

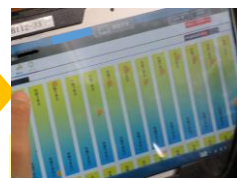
児童（生徒）の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。（小・中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳）

評価に当たっては、特に、学習活動において子供が道徳的価値やそれらに関わる諸事象について他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、次のような点を重視することが重要であり、I C Tの効果的な活用が子供たちの学習活動を促すことにもなる。

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか

「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。

- ・問題を自分事と捉えて授業に臨む。
- ・端末で、他者の考えを知り、共有して多面的・多角的に考え、自分の考えを表現する。



他者と議論する



全体で共有する

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか

他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。

- ・議論を通して道徳的価値を理解する。
- ・改めて自己を見つめ、端末に自己の生き方についての考えを表記し、共有する。



他者と議論する



自己を見つめる



教師が把握する



全体に紹介する

また、年間や学期という一定の期間を経て評価するために I C Tを活用することが、子供たちが自己を深く見つめることや教師の負担軽減にもつながる。

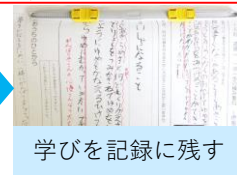
道徳科の評価のための活用例

継続的な授業によって子供の学習状況を見取り、子供がいかに成長したかを積極的に認め、励ます個人内評価を行う。

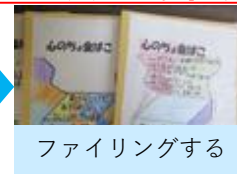
- ・毎時間の授業記録を端末に保存していく。
- ・子供が学びを振り返り、成長の様子を実感する。
- ・教師が子供の学びを見取り、評価に生かす。



自分の考えを書く



学びを記録に残す



ファイリングする

1人1台の端末に保存していくことで・・・

子供が振り返りやすくなる。

教師が子供の学習状況を把握しやすくなる。